

7月1日は「あぐいほたるの日」



阿久比町では、平成6年7月1日に開催した「ほたるサミットあぐい94」を記念し、7月1日を「あぐいほたるの日」としています。

さらに、町制施行55周年記念事業として平成20年12月に開催した「子ども議会」での提案を受け、6月20日～7月10日を、町民みんなでホタルを見に出掛ける期間「ホタルと一緒に自然を守らナイト」としています。

ホタルは環境のバロメーターです。家族や友人と水田などにホタルを見に出掛け、小さな淡い光を通して、命や自然の大切さを今一度見つけ直し、考える機会にしてください。

ホタル観察の3つのポイント

1 ホタルは初夏の水辺が大好き

町内の水田などに多く生息するヘイケボタル。1年のうちで最も多く見ることができる時期は、6月中旬～7月中旬の約1カ月間です。

※ 町内でも地区によって発生の時期に違いがあります。

2 ホタルは日没後の1時間～2時間が一番元気

ホタルが最も元気に活動する時間は、日没後の約1時間～2時間。午後8時～午後9時ごろが、発光するホタルの姿を確認できる時間です。阿久比町が夜のとばりに包まれたころ、暗闇に浮かび上がる淡く美しい光。あちらこちらで元気に飛び交うホタルを探しに、散歩気分に出掛けてみませんか。

3 ホタルの出現は、天候に左右されます

ホタルを見ることができるかどうかは、時間や場所はもちろん、当日の天候にも大きく左右されます。ホタルが最も好むのは、風が無く、蒸し暑い夜です。

ホタルの光について

ゲンジボタルと並び、日本の代表的な光るホタルとして親しまれているヘイケボタル。ヘイケボタルの発光の点灯時間は1秒前後です。ホタルの光は熱を持たない冷光なので手でホタルを包んでも熱くなりません。ヘイケボタルは、成虫の時期だけ発光すると思われていますが、卵、幼虫、さなぎの時期にも発光します。

ホタル分布調査

阿久比町では、毎年ホタルの分布調査を行っています。今年も小中学校の児童・生徒の皆さんの協力を得て実施します。皆さんも、自宅の周りや散歩道などでホタルを見つけた場所をお知らせください。調査結果は、8月1日号の広報あぐいに掲載します。

■ 調査日時 6月25日(水)～27日(金) 午後8時～午後9時

■ 調査方法 調査用紙(地図)にホタルを確認した地点を、赤色の点または線で記入してください。調査用紙は建設環境課・中央公民館・図書館で配布します。

■ 提出期限 6月30日(月)

■ 提出先 建設環境課環境係

※ 夜間の調査ですので、事故などには十分注意してください。ホタルが生息する場所は、水路や田など私有地も含まれます。所有者の迷惑にならないようお願いします。

■ 問い合わせ先 建設環境課環境係 ☎(48)1111 (内310・317)